

2009.12.19 「西松事件 小沢幹事長は説明責任を果たすべきだ」

参議院議員の西田昌司です。

昨日、小沢幹事長の秘書だった大久保さんの政治資金規正法違反の公判が始まりました。予想された事でもありましたけれども、その罪状には無罪を主張されたわけです。これは、これからの公判の中でその事実は明らかになってくるだろうと思いますし、多くの国民の方がこの裁判に注目しております。そして本人が否認をしても常識で考えても多額の政治資金がゼネコンから渡され、そして渡した本人が天の声を期待したと言ったわけですので、彼が言っていることは詭弁に過ぎないことは、いずれ明らかになるかと思います。

しかし私が一番納得できないのは、政治家本人そして小沢さん自身が民主党の幹事長であるので公党としての民主党の説明責任、この両方が一切されていないということです。自らの身の潔白を証明するならば説明責任を果たさなければなりません。この裁判についてだけではなく、まず小沢さん自身、また民主党として説明責任を果たしていただきたいと思います。

同時に小沢さんの問題は、今公判にされている西松建設の問題だけではありません。私は国会で度々質問してまいりましたが、いわゆる政治資金を使って陸山会名義で10億円を超える不動産を買い漁っている。この問題につきましても一切説明がされていませんし、その資金の出所が明らかではないのです。私はこれからもこの問題につきまして徹底的に国会の場で追及してまいります。

皆さん方には是非ともこの自律していただき、もう一度民主党の政権について審判を受けるための解散に追い込む覚悟でやっていきたいと思います。皆さん方の御支援よろしく願います。